

登録日	2026/4/24
腫瘍名	食道がん

登録番号	Eso017
申請科	消化器外科

投与スケジュール

FP+Tislelizumab			21日毎 PDまで		
			1コース	2コース	
			1 2 3 4 5 6 7	22 ... (day)	
①	ホスアプレピタント 生理食塩水	150 mg 500 mL	点滴 60分	↓	↓
②	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
③	生理食塩水 (前投薬用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
④	テビムブラ 生理食塩水	200 mg 50 mL	点滴 30分	↓	↓
			初回60分、副作用なければ2回目以降30分に短縮可		
⑤	生理食塩水 (テビムブラ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
⑥	20%マンニトール	300 mL	点滴 60分	↓	↓
⑦	シスプラチン 生理食塩水	80 mg/m ² 500 mL	点滴 120分	↓	↓
⑧	フルオロウラシル 生理食塩水	800 mg/m ² 500 mL	点滴 24時間	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	↓
⑨	フィジオ140	500 mL	点滴 3時間	↓	↓
⑩	フィジオ140 (Day2の10時までキープして投与)	1000 mL	点滴 16時間	↓	↓
⑪	フィジオ140 デキサート (1日4本の輸液を24時間でキープして投与)	2000 mL 6.6 mg	点滴 24時間	↓ ↓ ↓	
⑫	フィジオ140 (1日4本の輸液を24時間でキープして投与)	2000 mL	点滴 24時間		↓ ↓
⑬	オランザピン	5 mg/day	経口 夕食後	Day1~4	

注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・適応 化学療法歴のない根治切除不能な進行・再発食道がん(扁平上皮癌) ・臨床試験情報 用量について、シスプラチン60~80mg/m²、フルオロウラシル750~800mg/m²の範囲で治験医師の判断に基づき、決定された。化学療法の減量基準はテビムブラの適正使用ガイド参照 プラチナ製剤は6コースで終了することも許容されていた。 ・Day1~2までのフィジオのキープ輸液の点滴時間は目安の投与時間です。 (Day1のフィジオ3時間投与後に翌日までキープして投与します。) ・尿量はシスプラチン投与後24時間ごとに確認。尿量2000mL未満でDr Call。 ・体重測定を毎日実施。2kg増加でDr Call ・テビムブラは、インラインフィルターを使用(0.2または0.22 μm)。 同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。 ・免疫チェックポイント阻害薬の運用フローを参照

参考文献

<p>1) Lancet Oncol, 24, 483-495 (2023). 2) 添付文書(テビムブラ2025年7月改訂版、シスプラチン2025年9月改訂版、フルオロウラシル2024年7月改訂版)</p>
--